

トウクトウク 坂本屋コース

●トウクトウク出発時刻表

【坂本屋コース】所要時間：70分（乗車定員：5名） 16.7 km

時間	時間	時間	時間
(1) 9:30	(2) 10:40	(3) 12:40	(4) 13:50



医王山 養珠院 浄瑠璃寺 (46番札所)

四国八十八カ所霊場の46番札所となる寺院。708年の創建で、ご本尊は薬師如来、脇立ちとして日光、月光の二大菩薩と十二神将が祭られている。

薬師如来の浄土である東方浄瑠璃世界からその名をとって浄瑠璃寺と号した。江戸時代中期に山火事でほとんどの寺宝や文書、堂宇を焼失したが売音師（ぎょうおんし）が再興したと言われている。浄瑠璃寺境内には樹木や仏にちなむ石が多い。



蛇の釜・龍王淵衝上断



松山騒動伊予八百八狸伝説

～808匹の狸が封印されている神社 山口霊神

日本三大狸話の一つとして有名な「伊予八百八狸」の物語は江戸の末期に制作された講談で全国に広まりました。

この久谷、久万山に住む神通力自在の古狸「隠神刑部（いぬがみぎょうぶ）」は八百八匹の狸を従え、松山城の守護神として崇敬されていた。

大飢饉が起きた享保17年（1732）のころ、城代家老・奥平久兵衛はお家乗っ取りを企て、犬の乳で育てて夜目が利く剣の達人・後藤小源太を召し抱え、邪魔になる「隠神刑部」と戦わせました。刑部狸は小源太に、狸退治を思い止まってくれば、あなたを一生守りますと約束し、心ならずも悪たくみの一味となり、お家騒動に巻き込まれました。



忠臣派は、宇佐八幡から授かった不思議な神杖を持つ、豪傑・稲生武太夫を味方にして乗っ取り派を次々に征伐し、刑部狸をこの地の洞窟に閉じ込めました。

のちに刑部狸は長く松山藩に仕えた功德に免じて罪を許されて、里人たちと仲良く暮らし、山口霊神に祀られました。



新張城跡

鎌倉時代の地頭屋敷跡で、一応実戦ができる造りになっている。1230年代岐阜県の名族土岐氏が赴任し、16世紀半ばまで居住したようである。



文殊院

～四国八十八カ所発祥とされる弘法大師ゆかり



四国遍路の始祖と言われる衛門三郎の邸宅跡に建てられた寺院。真言宗大本山醍醐三宝院末、本尊は地藏菩薩。境内には、弘法大師と衛門三郎夫婦の石像が、納経所には物語が記された巻物が保存されている。また、山岳信仰の火渡りも行われて賑わいを見せる。

熊野山 妙見院 八坂寺 (47番札所)

四国八十八カ所霊場の47番札所となる寺院。701年の創建で、伽藍を建てるにあたり、八カ所の坂道を切り開いて道をつけたことが寺号の由来。ご本尊は鎌倉時代の木造阿弥陀如来坐像で比叡山の名僧である源信の作と言われており、50年に一度にしか開帳されない秘仏で県の指定有形文化財にもなっている。



境内には宝篋印塔・層塔（市指定有形文化財）があり、また本堂広場の碑の下には江戸彼岸桜の名木もある。

網掛け石 (鯨石)



その昔、農作業の邪魔になる2個の巨石を村人総出で動かそうにもびくともしず困っていたところ、弘法大師が通りがかり、これを取り除くために、カズラでつくった網をかぶせ、棒にひっかけて運びました。その際に、重さで網が石にくいこみ「網目」の模様がついたそうです。

運んでいる途中にあまりの重さに耐えられなかった棒が折れ、2つの巨石のうちひとつがこの地に落ちたそうで、「網掛け石（あみかけいし）」とよばれ、お大師さまゆかりの石として地域の人の信仰を集め、今も四季折々の花が飾られています。またその姿が、鯨が網をかけられた姿に似ていることから「鯨石」とも呼ばれています。

大黒座

大正時代に建てられた木造2階建ての土蔵でもとは酒造所だった。戦後には芝居や演芸など大衆文化の拠点であった時もあるが、1963年に閉鎖されていたが2006年に改修された。以来農村歌舞伎、奇席、音楽祭、ラジオ番組の開催など様々なイベントに利用され、往時の活気を取り戻している。

伝統的な土の塗り壁に囲まれた歴史ある佇まいの建物は、約90年前に建てられた当時のままの姿を残している。



<https://sakamotoya-henro.jp>

坂本屋

旅人と地元住民の触れ合いの場が遍路を支える

明治末期から大正初期に建てられた遍路宿。土佐街道の難所「三坂峠」の麓にあり、昭和初期まで休息・宿泊の場として賑わいを見せていたそうです。

平成16年春、多くの方々や地元住民の協力で内装外装ともに修復され、以来歩き遍路をする人々との交流が続いている。毎年3月から11月までの土日にお接待が予定されている。



久谷地区まちづくり協議会